

2017年の中国の経済政策と主な取り組み課題

～ 安定的な経済成長を最優先する方針 ～

王 雷軒

要旨

2017年の経済政策などを決める「中央経済工作会議」では、17年も安定的な経済成長を最優先し、積極的な財政政策と穏健中立な金融政策を実施する方針が決定された。また、資産バブルや金融リスクを抑制する方針も打ち出されたが、17年の主要な取り組み課題として、過剰な生産能力の削減への継続的な取り組みや農業分野の構造改革、実体経済の振興、不動産市場の健全な成長を促進することなどが挙げられた。

中国経済にとって
2017年は特別な年
か

2017年は第13次5カ年計画（16年～20年）を軌道に乗せるための重要な1年であり、サプライサイドの構造改革をさらに深めるための年でもある。また、17年の秋ごろに最高指導部が大幅に交替すると見られる共産党19回全国代表大会（以下、19回党大会）が開催される年でもある。

このような国内情勢に加えて、通商問題や為替レート政策などをめぐってトランプ次期米大統領が強硬な対中政策をとる可能性もあり、中国経済に逆風となりかねない。さらに、17年に米国の利上げペースが速まるとの予想もあり、中国からの資本流出が加速するリスクも浮上するなど、海外情勢をめぐるとの不確実性も高まりつつある。

12月14日～16日
に「中央経済工作
会議」が開催

これらを背景に、17年の経済政策や主要な取り組み課題を決定する重要な会議である「中央経済工作会議」は特に注目されていた。この会議は年に一度、最高指導部に加え、閣僚、地方政府や軍の幹部らが参加し、翌年の経済政策運営の方針などを決める経済関連での最高水準の会議である。

さて、16年の「中央経済工作会議」は12月14日から16日まで開催された。17年の中国経済を展望する上でも非常に重要な会議であるため、以下では足元の景気動向を簡単に紹介したうえで公表文のなかで重要だと思われるポイントをまとめてみた。

11月分の経済指標
は概ね良好

足元の景気は、輸出の低調さが続いたものの、製造業PMIや小売売上高などの良好な主要経済指標もあり、全体としては横ばい状態が続いていると見られる。公共投資の堅調な推移や住宅開発投資の持ち直しなどで国内需要に一定の改善が見られたため、11

16年の経済情勢
総括：肯定的な評価
を示す一方で問題
点も

月の製造業 PMI が 51.7 へと業況の持ち直しの動きが強まるなど、中国経済のファンダメンタルズは悪い方向に向かっているわけではない。

さて、同会議後の公表文では、16年の経済情勢に対する基調判断として、15年（実質 GDP 成長率が前年比 6.9%）と比べて減速しているが、その減速幅が縮小しているほか、ファンダメンタルズも改善に向かっていることが挙げられている。一方、過剰な生産能力の削減が依然必要であることや金融リスクの高まり、公共投資の依存で自律的経済成長にはなっていないこと、一部の地域（遼寧省や山西省）では経済成長率の大幅な低下などの問題点の解決も必要だと言及されている。

17年も安定のなか
で進歩を求め
る「稳中求進」とい
う基調を貫く

同会議は、12年11月の中国共産党第18回全国代表大会以降、経済発展の新常態（ニューノーマル）に適応するための経済政策の枠組みを基本的に構築したと指摘した。安定のなかで進歩を求める「稳中求進」という活動の基調は国家統治と政権運営の重要な原則であり、経済を着実に運営するための方法論でもあり、17年もこの基調を貫くこととなった。

17年の経済政策：
積極的財政政策・
穏健中立的金融政
策

16年の経済情勢に対する認識を踏まえたうえで、17年の経済政策が示されている。具体的には、安定成長を維持するためには、減税や公共投資などの積極的な財政政策および「穏健中立」（やや引き締め気味）な金融政策を実施すること、人民元為替レートは合理的な水準にあり、安定的に推移すること、金融リスクの高まりを軽減することなどが示されている。

構造改革を続ける
が、経済全体の安
定性を最優先する
姿勢か

このような基調や経済政策から、最高指導部の大幅な入れ替えが予想される19回党大会をにらみ、構造改革を進めていくが、経済全体の安定性を最優先する姿勢は示されていると思われる。最高指導部が安定的な経済成長を最優先するという考え方の背景に、19回党大会を前に景気が腰折れする事態を何としても回避することが重要であることは言うまでもない。

17年3月の全人代
で具体的な目標値
が発表予定

そのため、17年の成長率目標が6.5%より低い水準に設定される可能性は低いと見られる。この会議では、17年の成長率目標を16年の「6.5%～7%」から引き下げるかどうかには言及しなかったが、成長率目標を含め、財政赤字比率やマネーサプライ（M2）などの具体的な目標値は17年3月の全人代で公表される予定。

17年の積極的な財政政策については、さらに拡張的なものにして効果を高める、サプライサイドの構造改革の進捗状況に合

15 年の中央経済工作会議と比べて今回の特徴は金融政策の転換か

わせて予算を計上すること、企業の税負担などをさらに軽減することなどが挙げられている。

金融政策については、16 年は「穏健」だった（流動性が合理かつ潤沢）が、17 年は「穏健中立」に変更し、これまでの緩和気味の金融政策をやや引き締め気味に調整するスタンスを示したと推察される。これを受けて 17 年の M2 の増加率目標を 16 年の 13% から 12% に引き下げる公算が大きい。

なお、為替政策をめぐっては、15 年の「中央経済工作会議」では人民元レートの形成メカニズムを改善するという文言に留まっていたことに対して、今回の会議では、「人民元レートの変動幅を拡大するとともに、為替レートを合理的な均衡水準の範囲内で安定的に推移させる」とした。資本流出に伴う急激な人民元安を阻止する思惑も見られる。

さらに、特大都市の不動産バブル崩壊による金融不安を防ぐために、金融リスクを抑制する内容も強調されている。「金融リスクを果敢に処理し、資産バブル（資産泡沫）を抑え、監督能力を高め、金融システムの不安を決して起こさない」と最高指導部の金融リスクへの警戒姿勢を強く表現した。

17 年の主な取組み課題

このような経済政策下で、17 年は次の 4 つの主要課題が取り組まれるとする。「三去一降一補」をさらに進めていくこと、農業分野のサプライサイドの構造改革を深めていくこと、实体经济を振興させること、不動産市場の安定かつ穏健な成長を促すことが挙げられている。

具体的には、三去について鉄鋼および石炭の過剰な生産能力の削減（一去）を続けるとし、ゾンビ企業を完全に淘汰するとともに、市場と法律に基づきほかの業種にも存在する過剰な生産能力の削減も進めることが示されている。

住宅在庫の解消（一去）については、温州などの三・四線都市（中小都市）の住宅在庫を重点的に削減していくとし、中小都市と特大都市の間の交通網を整備することに加えて、中小都市の教育・医療水準の向上を通じた出稼ぎ労働者（農民工）の都市定住化を目指すことが強調されている。

企業や地方政府の債務削減（一去）について、地方政府の債券発行を規範化するほか、企業債務の削減に重点的に取り組む際に市場や法律に基づき、債務の株式化を拡大していくことが挙げられている。

企業経営コストの引き下げ（一降）では、減税・費用引き下げ、要素コストの低減への取り組みを強化する。具体的には、企業の物流コストや制度的取引コストを引き下げるほか、労働力市場の柔軟性を高め、企業が内部コスト削減や効率向上を行うことも重要だと指摘されている。

弱い分野の補強（一補）では、貧困撲滅の諸政策や措置を着実に推進されていくことなどが盛り込まれている。

農業分野のサプライサイドの構造改革を深める点である。農村環境の改善、安全・安心な農産物の提供、食糧在庫の削減、新型農業経営主体の育成、農産物価格の形成メカニズム、農地の所有権・請負権、経営権の分離（三権分離）などが進められることが盛り込まれている。

実体経済の振興に力を入れる点については、消費者に供給される製品の質を高め、ブランド形成に力を入れるなど企業の競争力の向上につなげていくほか、イノベーションを重視するうえで、新しい産業の育成とともに新技術を利用した伝統産業のグレードアップ、市場環境の改善を通じて引続き外資企業の誘致などが挙げられている。

不動産市場の安定的かつ健全な成長を促進する点については、不動産バブルを抑制し、急激な変動を防止するためには、流動性を適切に管理するとの方針を明らかにした。また、住宅価格が高騰する特大都市の住宅建設用地を適切に増やすなどの内容も決まっている。最高指導部は「住宅は住むためにあり、投機のためにあるのではない」と明記するほど、投機的な不動産投資を厳しく批判した。

国有企業の改革など様々な改革の推進も言及

さらに、電力、石油、天然ガス、鉄道、航空、通信、軍需関連の産業分野における国有企業の改革・再編を加速させる方針も示した。国有企業に民間資本を導入する混合所有制改革を推進するほか、財政税制、金融行政や年金制度改革も進める。

このように、16年は健全な成長に必要とされる過剰設備や過剰債務削減を主眼とした方針であったが、17年は過剰設備の削減など構造改革を進めていくものの、安定的な経済成長をより優先する姿勢に変わったことがうかがえる。いずれにしても、19回党大会を優れた実績で迎える必要があり、示された経済政策のもとで主要な課題を着実に取り組んでいくものと思われる。

（16.12.20 現在）